

平成27年国勢調査結果

平成30年1月
情報統計担当
Tel: 06-6489-6150

尼崎市の流動人口 (従業地・通学地集計結果)

平成27年国勢調査の従業地・通学地集計結果が、総務省統計局から公表されました。ここではその尼崎市に関する概要をお知らせします。なお、用語の定義など調査の概要及び全国結果等については、総務省統計局ホームページをご覧ください。

総務省統計局ホームページ : <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm>

流入人口は減少、流出人口は増加

平成27年10月1日現在の尼崎市の流動人口を見ると、流入人口総数は83,340人となり2,455人(2.9%)減少しました。このうち通勤者は78,971人となり3,127人(3.8%)減少、通学者は4,369人となり、672人(18.1%)増加となっています。

流出人口総数は100,262人となり11,905人(10.6%)減少しました。このうち通勤者は89,346人となり10,136人(10.2%)減少、通学者は10,916人となり1,769人(13.9%)減少となっています。

常住人口(夜間人口)452,563人に対し、昼間人口は435,641人となっており、これを差し引くと16,922人が市外へ流出している状況となっています。また昼間人口率(昼間人口の夜間人口に対する比率)は96.3%となり、0.5ポイント減となりました。

図1 常住人口(夜間人口)と昼間人口の推移(尼崎市)

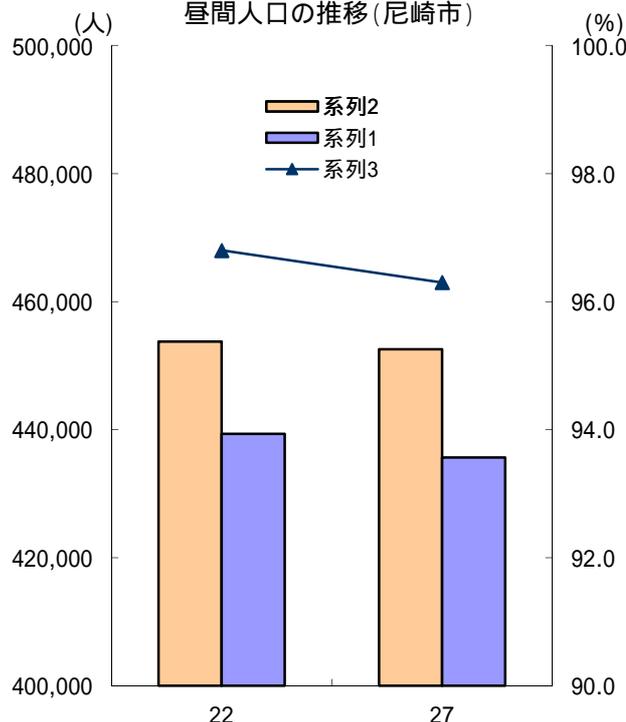


図2 流入・流出人口の推移(尼崎市)

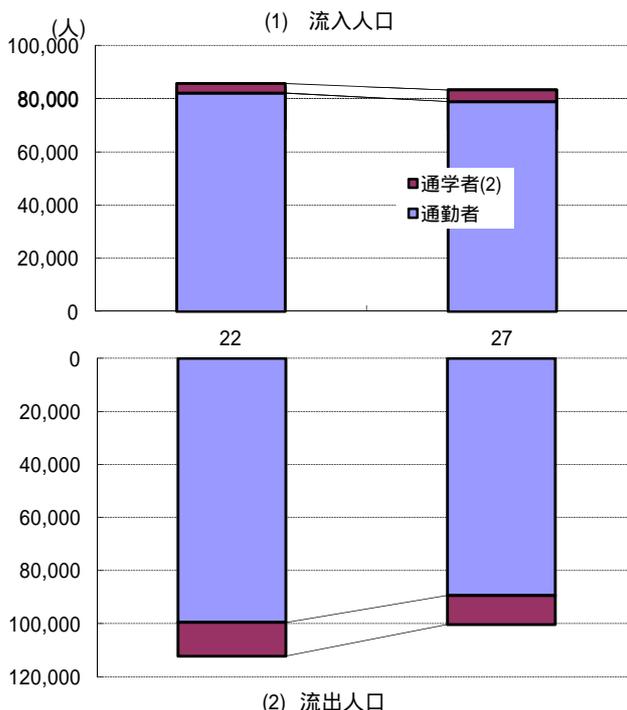


表1 尼崎市の流動人口(平成12、17、22年) 注

年次	常住人口(夜間人口)	昼間人口(1)	昼夜間人口差	昼間人口率(%)	流入人口			流出人口(3)		
					総数	通勤者	通学者(2)	総数	通勤者	通学者(2)
17	458,155	440,151	18,004	96.1	85,951	81,346	4,605	103,955	92,731	11,224
22	453,748	439,358	14,390	96.8	85,795	82,098	3,697	112,167	99,482	12,685
27	452,563	435,641	16,922	96.3	83,340	78,971	4,369	100,262	89,346	10,916

(1) 従業地・通学地「不詳」で、尼崎市に常住している者を含む。(2) 通学者数には15歳未満を含む。

(3) 他市区町村に従業・通学で、従業地・通学地「不詳」を含む。平成17年は「不詳」を含まない。

注 労働力状態「不詳」を含む。平成17年は年齢「不詳」を含まない。

(年齢不詳:平成17年4,492人、22年4,631人、27年15,846人)

近隣自治体の昼夜間人口との比較

尼崎市の昼間人口率を近隣自治体と比較すると、兵庫県全体の95.7%より0.6ポイント高く、神戸市の102.2%より5.9ポイント低くなっています。また尼崎市の昼間人口率は阪神地区7市1町の中では最も高く、住宅地と産業都市との中間的な性格であると思われます。

表2 近隣自治体の昼夜間人口、昼間人口率

自治体名	夜間人口	昼間人口	昼間人口率(%)	自治体名	夜間人口	昼間人口	昼間人口率(%)
尼崎市	452,563	435,641	96.3	宝塚市	224,903	179,751	79.9
兵庫県	5,534,800	5,294,074	95.7	川西市	156,375	124,513	79.6
神戸市	1,537,272	1,571,625	102.2	三田市	112,691	104,106	92.4
西宮市	487,850	439,258	90.0	大阪府	8,839,469	9,224,306	104.4
芦屋市	95,350	79,245	83.1	大阪市	2,691,185	3,543,449	131.7
伊丹市	196,883	178,195	90.5	豊中市	395,479	349,896	88.5

流動人口の流入元及び流出先

流入人口83,340人の主な流入元を府県別に見ると、兵庫県内他市町が52,302人(構成比62.8%)と最も多く、次いで大阪府が27,166人(構成比32.6%)が多くなっており、兵庫県内のうち尼崎市を除く阪神6市1町が38,270人(構成比45.9%)と全体のほぼ半数を占めています。さらにこれを都市別に見ると多い順に西宮市14,015人(構成比16.8%)、伊丹市11,933人(構成比14.3%)、大阪市11,263(構成比13.5%)、神戸市10,783人(構成比12.9%)とそれぞれ1万人を上回っています。

次に流出人口100,262人の流出先を府県別に見ると大阪府が59,777人(構成比59.6%)と最も多く、次いで兵庫県内他市町が36,060人(構成比36.0%)が多くなっており、兵庫県内のうち阪神6市1町が22,575人(構成比22.5%)となっています。さらにこれを都市別に見ると多い順に大阪市44,100人(構成比44.0%)、神戸市12,228人(構成比12.2%)、西宮市10,945人(構成比10.9%)とそれぞれ1万人を上回っています。

表3 流入人口の主な流入元

区分	総数	兵庫県	阪神地区 (注1)				神戸市	大阪府		
			西宮市	伊丹市	宝塚市	大阪市		豊中市		
総数	83,340	52,302	38,270	14,015	11,933	5,270	10,783	27,166	11,263	3,057
従業者数	78,971	48,947	35,986	13,384	11,094	4,893	10,090	26,369	11,006	2,987
通学者数 (注2)	4,369	3,355	2,284	631	839	377	693	797	257	70

表4 流出人口の主な流出先

区分	総数	兵庫県	阪神地区 (注1)				神戸市	大阪府		
			西宮市	伊丹市	宝塚市	大阪市		豊中市		
総数	100,262	36,060	22,575	10,945	6,948	1,949	12,228	59,777	44,100	3,682
従業者数	89,346	31,159	19,625	8,943	6,761	1,714	10,432	54,880	41,959	3,370
通学者数 (注2)	10,916	4,901	2,950	2,002	187	235	1,796	4,897	2,141	312

(注1) 西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町の6市1町の合計である。

(注2) 15歳未満の通学者を含む。